

雲仙岳の火山活動解説資料（平成 20 年 1 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんでした。平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

1 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 2）

噴煙は白色、ごく少量で高さは概ね 30m と低調に経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の回数は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 1、図 4）

GPS 連続観測では、火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。

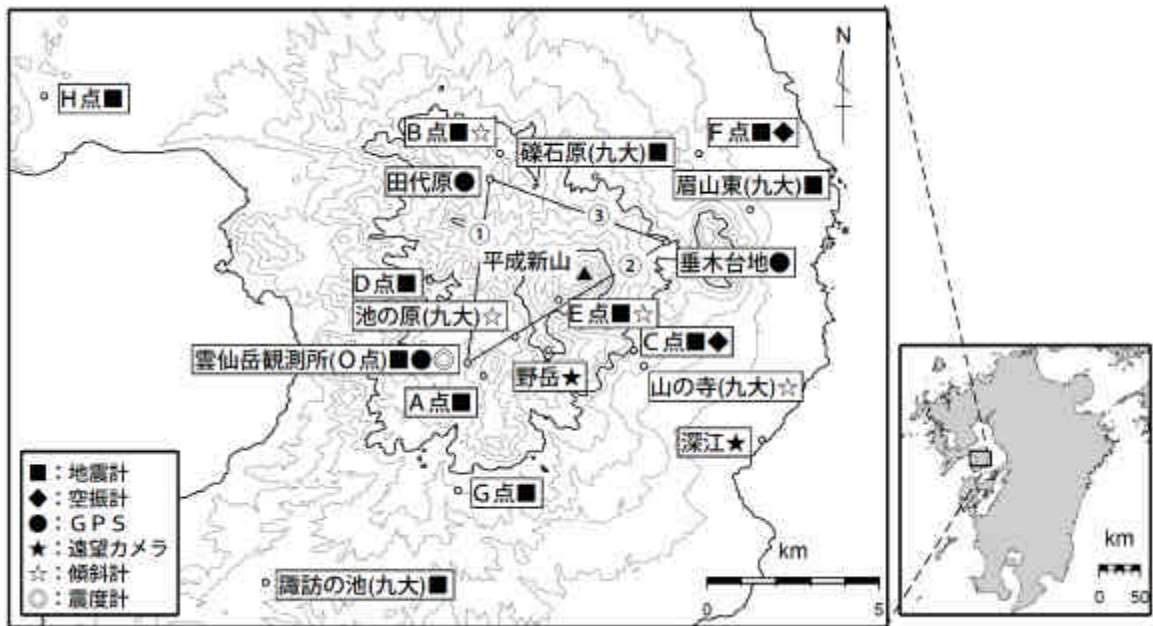


図 1 雲仙岳 観測点配置図

この資料の作成に当たっては、気象庁のデータその他、九州大学のデータを使用して作成しています。

地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

この火山活動解説資料は、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象台ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成 20 年 2 月分)は平成 20 年 3 月 6 日に発表予定です。

雲仙岳

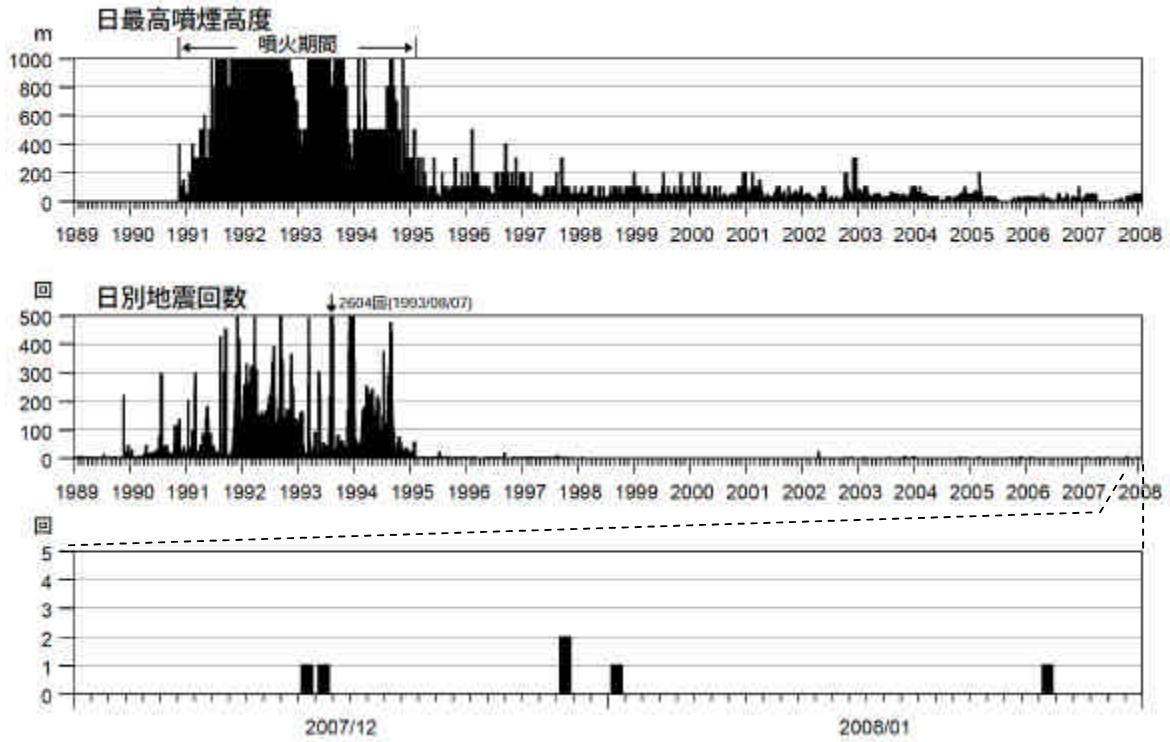


図2 雲仙岳 火山活動経過図（1989年1月～2008年1月）

噴煙の高さの最高は50mでした(12月：50m)。

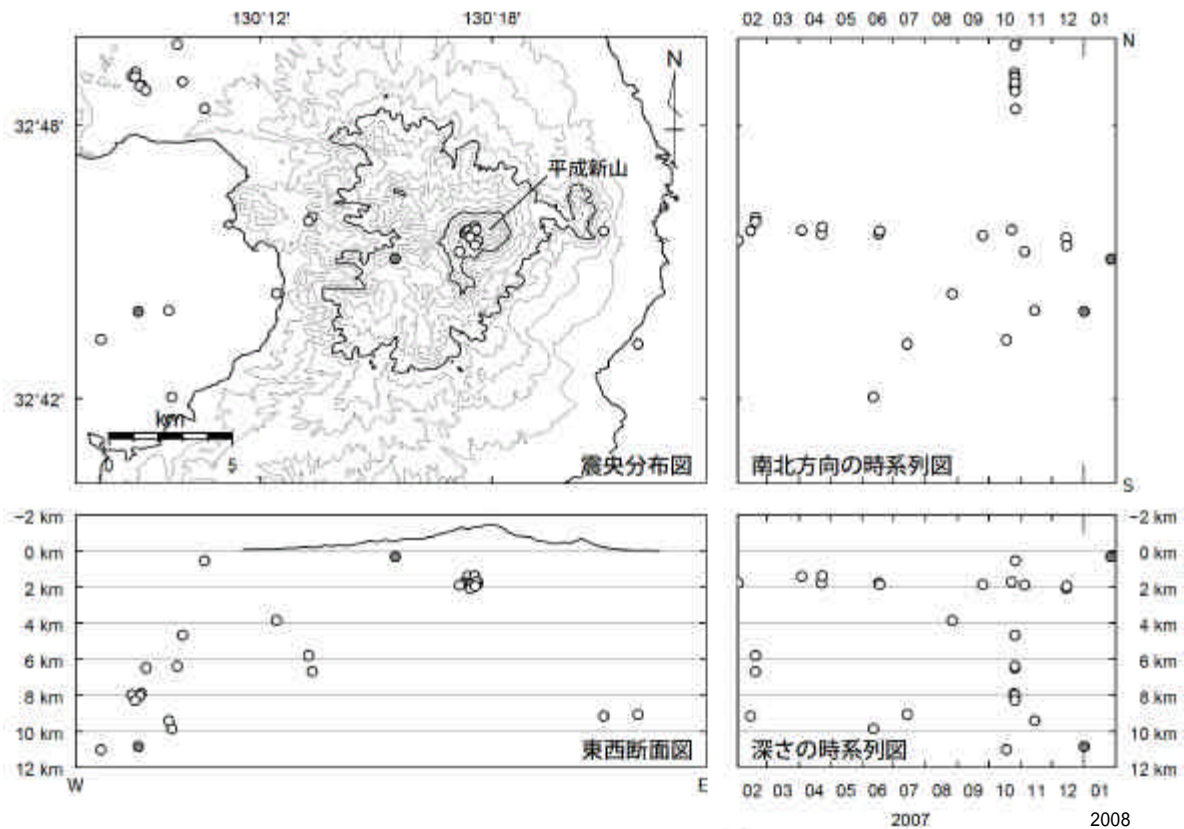


図3 雲仙岳 震源分布図（2007年2月～2008年1月）

火山性地震は平成新山付近に2個の震源が決まりました。

雲仙岳

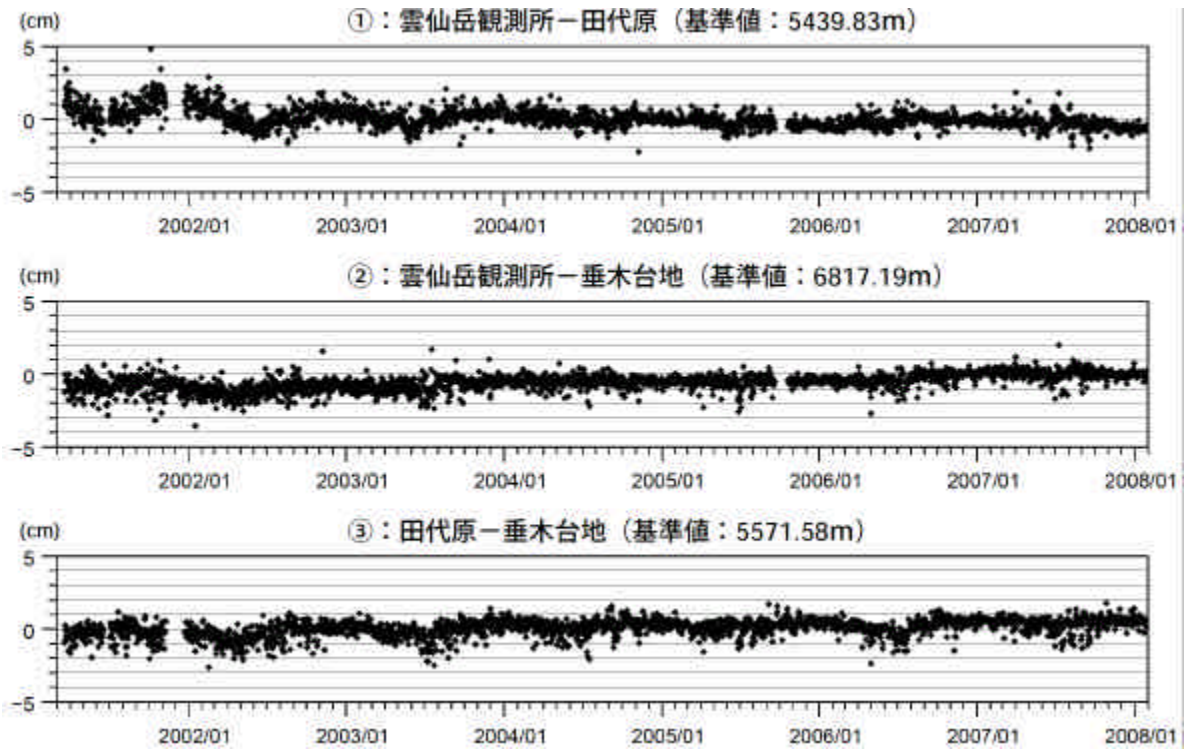


図4 雲仙岳 GPS連続観測による基線長変化(2001年3月20日～2008年1月31日)
火山活動に起因するとみられる変化は認められませんでした。